

いつまでもお元気で！

津奈木保育園あけぼの苑慰問

2月21日（金）、津奈木保育園児があけぼの苑を訪れ、お年寄りと交流会を行いました。これは、お年寄りと交流する機会が減少する中で、世代間を越えてふれあいの場を広げようと取り組んでいるものです。

今年は5歳児4歳児の計31人が出演。お遊戯会で披露した、劇やダンスを元気いっぱいに披露しました。その後、「いつまでも元気でいてください!」と園児たちが描いた絵と花束を贈ると、あけぼの苑の皆さんは「ありがとうね。たくさん元気をもらいました!」と満面の笑みで受け取っていました。



園児たちから花束が贈られました

目指せ！自己ベスト！！

2月5日（水）、津奈木小学校と平国小学校合同で長距離走のタイムを競う「つなぎっ子チャレンジマラソン」が開催されました。津奈木小学校グラウンドと周辺道路をコースに、1・2年生は1km、3・4年生は1.5km、5・6年生は2kmをそれぞれ走りました。

当日は1年生から6年生合計236人が参加しました。冷たい風が吹く中、児童らは半そで、短パン。ピストルの合図と同時に元気いっぱいに走り出しました。児童たちは着順を競うレースと自分たちで設定した目標タイムの2種目にチャレンジ。最後まで必死に駆け抜けていました。



駅に設置されたイスに座ってくつろいでいました

駅カフェでごゆっくり

駅カフェin津奈木開催

2月8日（土）、肥薩おれんじ鉄道開業10周年を記念して津奈木駅で『駅カフェin津奈木』が行われました。これは津奈木駅をカフェとして開放し、おれんじ鉄道の利用促進と町の活性化を図るために行われました。

当日は、町内物産店やおれんじ鉄道による出店、農林水産業女性部によるぜんざいのふるまい、つなぎ舞鶴太鼓の演奏も行われ、津奈木駅で降りた観光客を歓迎しました。朝からはあいにくの雨でしたが、昼には晴れ間ものぞき、津奈木駅はたくさんのお客さんで賑わっていました。

つなぎっ子チャレンジマラソン開催



元気いっぱいに駆けだす児童

健診受診が健康への近道



CKDについての講話をされる井上先生

志高く、夢を持って！

津奈木中学校2年生立志式

2月2日（日）、つなぎ文化センターで津奈木中学校2年生による立志式が行われました。今年の2年生は67人。一人一人が掲げた志をプロジェクターに映しだし、会場にいた生徒、保護者の前でこれからの自分の決意を發表しました。

生徒たちは、「3年生の受験のためにしっかり勉強を頑張りたい。」「これまで助けてくれた人、両親に感謝の気持ちを忘れず過ごします。」などと様々な決意を述べ、参加した保護者は成長した子どもたちの姿を誇らしげに見つめていました。



自分の決意を堂々と發表しました

健康づくり推進大会開催

2月9日（日）、「心を豊かに、健康をはぐくむ あなたが主役の健康づくり」をテーマに健康づくり推進大会がつなぎ文化センターで行われ、約170人の参加がありました。大会の中で健診受診優良地区表彰や小学6年生と中学3年生を対象とした、よい歯のコンクール表彰があり19人の小・中学生が受賞しました。

表彰式終了後、八代市にある熊本総合病院の井上武明先生を講師に迎え、CKD（慢性腎臓病）についての講演がありました。井上先生は講演の中で、健診受診による早期発見の大切さを話されました。



みんなで悪い鬼をやっつけろ！

力を合わせて鬼退治

津奈木幼稚園豆まき行事

2月3日（月）、津奈木幼稚園で豆まき行事が行われました。園児たちは、なぜ豆まきをやるのかという説明を受けると、手作りの鬼の面をかぶり、牛乳パックなどで作った箱の中に落花生を入れて鬼がやってくるのを待ちました。教室の扉がガラッと開いて青鬼が園児たちに襲いかかると、園児たちは逃げながらも必死に豆をぶつけていました。

豆まきが終わると、園児たちは歳の数だけ落花生をもらい、自分たちで殻をむいておいしそうに豆を食べていました。